

## 理想の上司

産業能率大学は、4月18日、今年の新入社員が選ぶ「理想の上司」の調査結果を発表しました。

その結果は下表のとおりで、男性では大阪市の橋下市長、女性では天海祐希さんがそれぞれ1位となりました。

順位	理想の男性上司	理想の女性上司
1	橋下 徹 (32票)	天海 祐希 (70票)
2	池上 彰 (31票)	江角 マキコ (41票)
3	イチロー (29票)	澤 穂希 (32票)
4	阿部 寛 (19票)	真矢 みき (31票)
5	水谷 豊 (19票)	篠原 涼子 (26票)

この調査は、産業能率大学が1993年（98年からは、男性上司と女性上司に分けて）行われているもので、今回で20回目に当たります。

この調査では、単に誰を理想の上司に選ぶかというだけでなく、その理由と、上司に求める指導スタイルやソーシャルスタイルについて聞いています。

まず、理想の上司として選んだ理由を見ると、新入社員にとって、「適切なアドバイスをしてくれそう」な男性上司、「態度や姿勢が手本になりそう」な女性上司が、それぞれ理想の上司と映っているようです。

また、新入社員が上司に求める指導スタイルは、仕事のやり方を論理的に、丁寧に教えてくれるようなタイプが好まれるようで、「まずは任せてみて、進めながらやり方を細かく指導するタイプ」が最も支持されています。一方、「まずは任せてみて、やり方の指導も余り細かくはしないタイプ」は最も敬遠されています。昔は、「仕事のやり方は盗んで覚えろ」というタイプの上司が随分いましたが、そんな上司は、新入社員からはそっぽを向かれてしまいます。

更に、上司に求めるソーシャルスタイルで最も回答が多かったのは、「支配性が低く、感情は開放的な友好型」でした。新入社員は、上司に対し、近づき

やすさや親しみやすさを求めているようです。逆に、細かくて、ねちねちタイプは嫌われるから気を付けなければなりません。「職場は遊び場じゃないんだ。」「優しければ良いというものではないだろう。」とカんでみても、時代が変わったとしかいいようがありません。

さて、そうした新入社員達の理想の上司像に照らし合わせて、実際に選ばれた人たちの顔ぶれを見ると、なるほどと思う反面、意外性も感じられます。

女性上司では、天海祐希さん、江角マキコさん、澤穂希さんが上位に選ばれていますが、「リーダーシップがありそう」「態度や姿勢が手本になりそう」というのが選ばれた理由です。私は、テレビなどを通してでしか知りませんが、いずれの皆さんも魅力的です。

一方、男性上司の方は、橋下徹さん、池上彰さん、イチローさんが上位に選ばれていますが、三者三様ですね。

池上彰さんは「適切な指示をしてくれそう」「適切なアドバイスをしてくれそう」、イチローさんは「態度や姿勢が手本になりそう」というもので、理想の上司として選ぶ理由も分かります。これに対して、橋下大阪市長が選ばれた理由は、圧倒的に「リーダーシップがありそう」というものでした。

確かに、自分の考えを押し通していく橋下市長の強力なパワーとぶれない姿勢は、何も決められず、肝心なことは先送りという今の政治家の有様を見せ付けられている若者達に取っては新鮮で、憧れを感じるのかもしれませんが。

でも、新入社員の皆さんに申し上げたいことは、橋下市長さんのようなタイプの上司の下で仕事をするのはきっと大変ですよ。軟弱な精神では、1日と持たないことは請け合いです。(塾頭 吉田 洋一)